

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成24年11月13日
【四半期会計期間】	第62期第2四半期（自平成24年7月1日至平成24年9月30日）
【会社名】	平田機工株式会社
【英訳名】	HIRATA Corporation
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 平田 雄一郎
【本店の所在の場所】	東京都品川区戸越三丁目9番20号 (注) 同所は登記上の本店所在地であります。主な業務は「最寄りの 連絡場所」で行っております。
【電話番号】	03 - 3786 - 1226 (代表)
【事務連絡者氏名】	執行役員経営企画部長 藤本 勝
【最寄りの連絡場所】	熊本県熊本市北区植木町一木111
【電話番号】	096 - 272 - 5558
【事務連絡者氏名】	執行役員経営企画部長 藤本 勝
【縦覧に供する場所】	株式会社大阪証券取引所 (大阪市中央区北浜一丁目8番16号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第61期 第2四半期 連結累計期間	第62期 第2四半期 連結累計期間	第61期
会計期間	自平成23年4月1日 至平成23年9月30日	自平成24年4月1日 至平成24年9月30日	自平成23年4月1日 至平成24年3月31日
売上高(千円)	26,043,794	16,496,569	47,622,069
経常利益又は経常損失() (千円)	945,722	485,874	1,464,397
四半期(当期)純利益又は四半期純損失() (千円)	391,687	354,820	489,498
四半期包括利益又は包括利益(千円)	313,144	355,680	554,930
純資産額(千円)	17,427,017	17,196,176	17,668,788
総資産額(千円)	59,038,155	51,619,498	54,528,789
1株当たり四半期(当期)純利益金額又は1株 当たり四半期純損失金額()(円)	37.28	33.77	46.59
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期) 純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	29.2	33.0	32.1
営業活動によるキャッシュ・フロー(千円)	1,897,944	3,381,906	943,962
投資活動によるキャッシュ・フロー(千円)	425,973	501,797	740,116
財務活動によるキャッシュ・フロー(千円)	67,461	1,064,350	540,789
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高 (千円)	5,668,803	9,377,857	7,549,065

回次	第61期 第2四半期 連結会計期間	第62期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自平成23年7月1日 至平成23年9月30日	自平成24年7月1日 至平成24年9月30日
1株当たり四半期純利益金額(円)	19.40	9.94

(注) 1. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

2. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

3. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1)業績の状況

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、欧州での金融、財政不安による債務問題が長期化する中で景気低迷が続いていることに加え、新興国経済の成長も減速傾向にあります。一方、国内経済におきましては、緩やかな回復基調が見られるものの世界経済の低迷、円高水準の長期化などにより、景気の先行きについて依然として不透明感が払拭できない状況が続いております。

このような経営環境のもと、当社グループにおきましては、企業の設備投資に対する姿勢が慎重化する中で、予定しておりました案件の受注が遅れるなど、当第2四半期における生産および売上とも低調となり厳しい状況で推移しました。

当第2四半期連結累計期間における売上高は164億96百万円（前年同期比36.7%減）となり、営業損失は4億44百万円（前年同期は9億93百万円の営業利益）、経常損失は4億85百万円（前年同期は9億45百万円の経常利益）、四半期純損失は3億54百万円（前年同期は3億91百万円の四半期純利益）となりました。

事業部門別の営業概況は以下のとおりであります。

1）自動車関連生産設備事業

自動車関連生産設備事業におきましては、北米の自動車メーカー向けの案件を中心とした引合いは堅調であります。予定しておりました大型案件の受注が遅れている影響もあり、売上高は58億76百万円となりました。

2）半導体関連生産設備事業

半導体関連生産設備事業におきましては、受注、売上とも厳しい状況の中、大型製造受託案件の受注の遅れなどが影響しました結果、売上高は54億5百万円となりました。

3）家電関連およびその他生産設備事業

家電関連およびその他生産設備事業におきましては、白物家電および電子部品を中心とした案件を予定どおり売上げました結果、売上高は29億36百万円となりました。

セグメントの状況は、以下のとおりであります。

1）日本

日本におきましては、自動車関連生産設備事業および半導体関連生産設備事業における大型製造受託案件の受注の遅れが影響しました結果、売上高は133億96百万円（前年同期比43.3%減）、営業損失は7億76百万円（前年同期は10億58百万円の営業利益）となりました。

2）アジア

アジアにおきましては、家電メーカーおよびタイヤメーカー向けの案件などを予定どおり売上げました結果、売上高は19億37百万円（前年同期比64.6%増）、営業利益は38百万円（前年同期比4.8%減）となりました。

3）北米

北米におきましては、自動車メーカー向けを中心とした案件を予定どおり売上げました結果、売上高は10億60百万円（前年同期比6.3%増）、営業利益は3億67百万円（前年同期は15百万円の営業利益）となりました。

4）欧州

欧州におきましては、欧州市場の不透明感から、自動車および家電メーカー向けを中心とした案件が低調に推移しました結果、売上高は1億2百万円（前年同期比56.7%減）、営業損失は38百万円（前年同期は1億2百万円の営業損失）となりました。

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて29億9百万円減少し、516億19百万円となりました。その主な内訳は、現金及び預金の増加18億28百万円、受取手形及び売掛金の減少61億84百万円、仕掛品の増加6億6百万円、繰延税金資産の増加3億10百万円であります。負債につきましては、前連結会計年度末に比べて24億36百万円減少し、344億23百万円となりました。その主な内訳は、支払手形及び買掛金の減少18億36百万円、1年内返済予定の長期借入金の増加20億35百万円、1年内償還予定の社債の減少3億75百万円、前受金の増加6億76百万円、長期借入金の減少28億40百万円であります。その結果、自己資本比率は前連結会計年度末の32.1%から33.0%となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物残高は、前連結会計年度末に比べて18億28百万円増加し、93億77百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純損失5億34百万円に対し、売上債権の減少62億56百万円、仕入債務の減少18億86百万円等により、33億81百万円の収入（前年同四半期は18億97百万円の支出）となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、投資有価証券の取得による支出1億10百万円、有形固定資産の取得による支出4億45百万円等により、5億1百万円の支出（前年同四半期は4億25百万円の支出）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の増加3億59百万円、長期借入れによる収入10億円、長期借入金の返済による支出18億6百万円、社債の償還による支出3億75百万円、配当金の支払いによる支出1億57百万円等により、10億64百万円の支出（前年同四半期は67百万円の収入）となりました。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、3億41百万円であります。なお、当第2四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	37,000,000
計	37,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成24年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成24年11月13日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	10,756,090	10,756,090	大阪証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 100株
計	10,756,090	10,756,090	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成24年7月1日～ 平成24年9月30日		10,756,090		2,633,962		2,219,962

(6) 【大株主の状況】

平成24年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
平田 耕也	熊本県熊本市	994,462	9.25
平田機工社員持株会	東京都品川区戸越三丁目9番20号	888,010	8.26
平田 紀生	奈良県生駒市	575,162	5.35
S M C 株式会社	東京都千代田区外神田4丁目14-1	500,000	4.65
平田 宏之	熊本県熊本市	464,972	4.32
平田 満	熊本県合志市	457,629	4.25
株式会社肥後銀行	熊本県熊本市中央区練兵町1	456,000	4.24
平田 雄一郎	熊本県熊本市	402,300	3.74
平田 滋夫	熊本県熊本市	363,044	3.38
有限会社コンパス	熊本県熊本市中央区渡鹿5丁目5-22	224,000	2.08
計	-	5,325,579	49.52

- (注) 1. 上記のほか、自己株式が249,412株あります。
2. 当社の代表取締役会長でありました、平田 耕也氏は平成24年8月7日に死去しましたが、名義書換未了のため、株主名簿上の名義で記載しております。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成24年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 249,400		
完全議決権株式(その他)	普通株式 10,505,600	105,056	
単元未満株式	普通株式 1,090		
発行済株式総数	10,756,090		
総株主の議決権		105,056	

- (注) 1. 「完全議決権株式(その他)」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が200株含まれております。
また、「議決権の数」欄には、証券保管振替機構名義の株式に係る議決権の数2個が含まれております。
2. 「単元未満株式」の欄には、自己株式12株が含まれております。

【自己株式等】

平成24年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
平田機工株式会社	東京都品川区戸越三丁目9番20号	249,400		249,400	2.32
計		249,400		249,400	2.32

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出後、当四半期累計期間における役員の異動は、次のとおりであります。

退任役員

役名	氏名	退任年月日
代表取締役会長	平田 耕也	平成24年 8月 7日 (死去による退任)

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成24年7月1日から平成24年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
 (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,549,065	9,377,857
受取手形及び売掛金	20,540,016	14,355,242
商品及び製品	239,540	286,216
仕掛品	4,256,194	4,862,861
原材料及び貯蔵品	342,892	321,029
繰延税金資産	1,885,961	2,196,560
その他	847,695	976,604
貸倒引当金	23,909	19,665
流動資産合計	35,637,457	32,356,707
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,319,405	4,424,775
機械装置及び運搬具(純額)	984,234	901,669
工具、器具及び備品(純額)	390,437	471,612
土地	9,719,445	9,707,497
建設仮勘定	112,306	236,546
有形固定資産合計	15,525,828	15,742,102
無形固定資産		
借地権	25,781	25,781
ソフトウェア	263,307	263,068
のれん	4,188	38,582
その他	15,834	15,798
無形固定資産合計	309,111	343,229
投資その他の資産		
投資その他の資産	3,056,393	3,177,458
固定資産合計	18,891,332	19,262,791
資産合計	54,528,789	51,619,498

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,379,365	6,542,453
短期借入金	5,742,024	6,104,581
1年内返済予定の長期借入金	2,845,305	4,880,538
1年内償還予定の社債	750,000	375,000
未払金	417,113	519,106
未払費用	1,633,291	1,579,970
未払法人税等	192,495	178,599
前受金	605,660	1,282,616
賞与引当金	117,310	119,470
役員賞与引当金	59,215	-
製品保証引当金	518,575	371,122
工事損失引当金	64,220	69,723
繰延税金負債	853	853
その他	605,548	436,169
流動負債合計	21,930,980	22,460,203
固定負債		
長期借入金	10,087,306	7,246,597
繰延税金負債	11,756	11,925
再評価に係る繰延税金負債	2,474,958	2,474,958
退職給付引当金	1,254,781	1,145,342
役員退職慰労引当金	721,169	727,974
その他	379,047	356,319
固定負債合計	14,929,020	11,963,118
負債合計	36,860,001	34,423,321
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,633,962	2,633,962
資本剰余金	2,322,634	2,322,634
利益剰余金	9,218,001	8,703,509
自己株式	243,161	243,161
株主資本合計	13,931,436	13,416,945
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	298,850	270,701
繰延ヘッジ損益	9,526	14,758
土地再評価差額金	3,975,983	3,978,054
為替換算調整勘定	697,498	646,361
その他の包括利益累計額合計	3,567,808	3,617,152
少数株主持分	169,542	162,078
純資産合計	17,668,788	17,196,176
負債純資産合計	54,528,789	51,619,498

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	26,043,794	16,496,569
売上原価	22,350,273	14,254,900
売上総利益	3,693,521	2,241,668
販売費及び一般管理費	2,700,053	2,686,483
営業利益又は営業損失()	993,468	444,814
営業外収益		
受取利息	1,545	1,856
受取配当金	15,123	18,012
保険配当金	20,885	10,086
原材料等売却益	11,202	9,663
持分法による投資利益	3,895	6,850
その他	71,294	28,798
営業外収益合計	123,947	75,268
営業外費用		
支払利息	92,254	89,908
為替差損	22,730	2,259
その他	56,708	24,160
営業外費用合計	171,693	116,328
経常利益又は経常損失()	945,722	485,874
特別利益		
固定資産売却益	1,781	675
特別利益合計	1,781	675
特別損失		
固定資産除却損	4,042	1,605
固定資産売却損	537	3,232
減損損失	3,805	-
投資有価証券評価損	32,818	44,638
特別損失合計	41,203	49,476
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失()	906,300	534,675
法人税等	575,715	131,109
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失()	330,585	403,565
少数株主損失()	61,102	48,744
四半期純利益又は四半期純損失()	391,687	354,820

【四半期連結包括利益計算書】
 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失()	330,585	403,565
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	60,321	28,149
繰延ヘッジ損益	23,472	24,285
為替換算調整勘定	19,408	51,748
その他の包括利益合計	17,440	47,885
四半期包括利益	313,144	355,680
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	374,087	307,547
少数株主に係る四半期包括利益	60,942	48,132

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失()	906,300	534,675
減価償却費	435,037	443,919
のれん償却額	6,965	6,274
貸倒引当金の増減額(は減少)	10,977	4,693
賞与引当金の増減額(は減少)	59,496	1,451
役員賞与引当金の増減額(は減少)	64,735	59,215
製品保証引当金の増減額(は減少)	98,517	148,295
退職給付引当金の増減額(は減少)	112,464	109,438
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	76,588	6,804
工事損失引当金の増減額(は減少)	18,778	5,502
受取利息及び受取配当金	16,668	19,869
支払利息	92,254	89,908
為替差損益(は益)	115,990	115,058
持分法による投資損益(は益)	3,895	6,850
固定資産売却損益(は益)	1,243	2,556
固定資産除却損	4,042	1,605
減損損失	3,805	-
投資有価証券評価損益(は益)	32,818	44,638
売上債権の増減額(は増加)	140,963	6,256,362
たな卸資産の増減額(は増加)	1,379,233	600,579
仕入債務の増減額(は減少)	1,422,667	1,886,044
未払費用の増減額(は減少)	374,803	57,012
前受金の増減額(は減少)	532,386	657,629
その他	270,721	314,257
小計	1,518,625	3,660,662
利息及び配当金の受取額	17,785	21,488
利息の支払額	94,920	90,241
法人税等の支払額	302,184	210,003
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,897,944	3,381,906

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	109,996	110,417
投資有価証券の売却による収入	-	150
有形固定資産の取得による支出	308,838	445,418
有形固定資産の売却による収入	1,839	127,416
無形固定資産の取得による支出	8,977	73,527
投資活動によるキャッシュ・フロー	425,973	501,797
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（は減少）	805,914	359,785
長期借入れによる収入	2,500,000	1,000,000
長期借入金の返済による支出	2,644,456	1,806,125
社債の償還による支出	375,000	375,000
配当金の支払額	157,600	157,600
その他	61,395	85,409
財務活動によるキャッシュ・フロー	67,461	1,064,350
現金及び現金同等物に係る換算差額	616	13,034
現金及び現金同等物の増減額（は減少）	2,255,839	1,828,792
現金及び現金同等物の期首残高	7,924,643	7,549,065
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,668,803	9,377,857

【会計方針の変更】

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる損益へ与える影響は軽微であります。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

資産の金額から直接控除している貸倒引当金の額

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
投資その他の資産	54,513千円	53,983千円

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
給料及び賞与	996,982千円	1,055,821千円
退職給付費用	84,623	85,374
減価償却費	65,802	57,569
賞与引当金繰入額	66,473	58,743
役員退職慰労引当金繰入額	27,467	28,513

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
現金及び預金勘定	5,668,803千円	9,377,857千円
預入期間が3ヶ月を超える定期預金	-	-
現金及び現金同等物	5,668,803	9,377,857

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年6月28日 定時株主総会	普通株式	157,600	15.0	平成23年3月31日	平成23年6月29日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月27日 定時株主総会	普通株式	157,600	15.0	平成24年3月31日	平成24年6月28日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	日本	アジア	北米	欧州	合計
売上高					
外部顧客への売上高	23,632,746	1,176,885	997,271	236,891	26,043,794
セグメント間の内部売上高 又は振替高	916,781	646,295	162,836	8,850	1,734,764
計	24,549,528	1,823,180	1,160,108	245,741	27,778,559
セグメント利益又は損失()	1,058,440	39,936	15,608	102,026	1,011,959

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,011,959
棚卸資産の調整額	21,853
その他の調整額	3,362
四半期連結損益計算書の営業利益	993,468

当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	日本	アジア	北米	欧州	合計
売上高					
外部顧客への売上高	13,396,589	1,937,010	1,060,454	102,515	16,496,569
セグメント間の内部売上高 又は振替高	920,502	164,806	90,464	5,890	1,181,664
計	14,317,091	2,101,816	1,150,919	108,406	17,678,234
セグメント利益又は損失()	776,020	38,031	367,089	38,651	409,550

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	409,550
棚卸資産の調整額	35,295
その他の調整額	31
四半期連結損益計算書の営業損失()	444,814

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額()	37円28銭	33円77銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額又は四半期純損失金額() (千円)	391,687	354,820
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額又は四半期純損失金額()(千円)	391,687	354,820
普通株式の期中平均株式数(千株)	10,506	10,506

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年11月12日

平田機工株式会社
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 俵 洋志 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 笠間 智樹 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 橋本 裕昭 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている平田機工株式会社の平成24年4月1日から平成25年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成24年7月1日から平成24年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、平田機工株式会社及び連結子会社の平成24年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。